

意見・質問・要望等

角田市の市政全般に言えますが、情報の提供やPRが下手とも思える。この度の報道で、議会として角田市議会一般会議が開催されたことは大変に良いことと感じている。公職選挙法が改正され18歳以上の方が投票することが可能となったのを受けて、今後、議会として高校生との角田市議会一般会議等を含め意識の高揚や啓蒙活動を図って欲しい。【横倉自治センター】

当日の回答

平成23年に制定しました議会基本条例に則り、過日の農業経営者会議の皆様と角田市議会一般会議を開催いたしました。また、平成28年2月16日には角田市商工会との角田市議会一般会議を開催する予定です。目的としては、この度の賑わいの交流施設整備に関しての意見聴取と業界のおかれた現状や課題を伺い、市政に反映していくとの目的であります。議会としては、従来の待ちの姿勢から積極的に取り組んでいく姿勢への変化の表れと捉えていただければ幸いです。

また、公職選挙法の改正に伴う18歳以上の選挙権を有す高校生へのPR等については、現時点では検討していませんが、ただ今の提案や高校生議会を開催するのの一考だと思いましたので、持ち帰り検討をさせていただきます。

当局・議会回答

角田市議会では、角田市議会基本条例に基づき、市内で活動している団体等の希望により、議会と住民がいつでも意見交換することができる一般会議を開催することができます。

一般会議は、議会への市民参加の機会を設けるとともに、多様な住民の意思・意見を聴取し、そこから発生する市政上の課題に対応するための政策提言の拡大を図ることを目的としています。

平成28年に入ってから角田市議会一般会議が3回行われましたが、それぞれの団体から活発な発言をいただき、その内容は、今後、議会として取り組まなければならない課題が多数ありました。議会運営委員会や各常任委員会等に持ち帰り、さらなる調査・研究をしていき、重要な案件については、政策提言を行ってまいります。

角田市議会といたしましても、かくだ市議会だよりやホームページを活用し、より開かれた議会を目指し、PRしていきます。

意見・質問・要望等

水上住宅について、ゴミ集積所におけるカラス被害の問題が発生し、担当課と相談しながら応急対応をしてはもらったものの、予算の関係など根本的な問題解決に至ってない現状がある。また、自治会では環境美化運動の一環として年に2～3回の敷地内の草刈りを、シルバー人材センターに依頼し協働で実施している。市においてもシルバー人材センターに依頼し、入口付近の機械設備付近のみを行っている。地元自治会としては、市との協働で一体管理した活動が何故できないのか疑問でもあり、強く要望するとともに検討結果を早急に知らせてほしい。【横倉自治センター】

当日の回答

自治会として環境美化に取り組む姿勢については、大変に意義があるものだと考えておりますし、それらの活動には感謝を申し上げます。これら2件の要望については資料の持ち合わせも無いことから、持ち帰らせていただき、予算審査特別委員会分科会や常任委員会で確認を行います。その結果等については早急にご連絡をいたします。

当局・議会回答

水上住宅のごみ集積所に関しては、自治会・行政区と話し合いを持ち、ごみの分別指導や集積所小屋の設置をすることとしました。また、水上住宅内の敷地内の草刈については、自治会と連携を図りシルバー人材センターへ委託する時期などを同時期にすることで、環境美化を図ってまいります。【建築住宅課】

除融雪に関すること

意見・質問・要望等

先の議会報告会や土木課に対し、横倉小学校付近を除雪する歩道用小型除雪機の貸与を要望していたが、どうなっているのか確認したい。【横倉自治センター】

当日の回答

確かに前回の議会報告会で質問・要望があった件でありますし、当然に報告書等を踏まえた形で確認し、必要とされる可否を決定しているものと考えていますが、現実的に学校や振興協議会が必要と考えているならば持ち帰らせていただき、後日の予算審査や常任委員会等で確認をします。

当局・議会回答

市内小・中学校の校長会で調整した結果、費用対効果の関係で、台数に限りがあることから、他校へ譲ることになった経緯があり、今後も校長会の中で、限られた台数の中から調整していくこととしています。
また、平成28年1月28日に質問された方へ説明しました。【土木課】

側溝に関すること

意見・質問・要望等

現在、横倉地区には、今谷・山崎・左関住宅など点在している。それらの側溝の整備(蓋掛け)を以前から要望しているが、市長に伺うと、横倉地区の側溝整備は年次計画で整備していくとの答弁であり、土木課に伺えば年間200万円で持ち回りで整備していくとのことだ。住民の高齢化も進み危険度も増している現状にあるので、急いで整備を図るように努めてほしい。【横倉自治センター】

当日の回答

この件に関しましては、各地区振興協議会から出された各種整備事業を精査し、毎年200万～500万円位の予算で整備を図っているものであります。ご質問の左関住宅の側溝整備については、平成28年度を予定しておりますが、他の住宅の側溝整備についてはどうなっているのかも含め、危険箇所などの優先順序の高い箇所もなど調査し、当局と精査を図りますので持ち帰りとさせていただきます。

当局・議会回答

今谷、山崎、左関住宅の側溝整備については、地区振興協議会の要望事業とは別に実施している事業です。側溝整備の優先順位については、地元の行政区長と相談しながら決めていますので、ご理解ください。【土木課】

意見・質問・要望等

①デマンド型乗合タクシーについて、毎回、意見・要望が出ている。また、市長のまちづくり懇談会の席上でも答弁がなされており理解はしているものの、昨今の高齢化や核家族化に伴い、病院へ通うための手段として角田市から引っ越された事例が出てきた。定住人口の減少や増加対策を考えるならば、それらの変化に対応できる取り組みを図ってほしい。【横倉自治センター】

②デマンド型乗合タクシーによるみやぎ県南中核病院への乗り入れを、午前、午後とも各2本とするなどの運行をしてほしい。タクシーを利用して1回の通院のために往復すると1万円程度かかるため、経済的負担が大きい。【東田町公民館】

③デマンド型乗合タクシーの中核病院までの乗り入れについて、4～5年もたって継続調査事項とはどうなのか。【桜自治センター】

当日の回答

①平成27年12月定例会の一般質問でも議論をいたしました。現状では地元の民間交通機関との折り合いで、調整がつかないとのことでした。また、構成する他町においても同様の問題が話し合われており、当市と同じような状況であります。なお、今回も要望がありましたので、持ち帰りまして、再度検討を図りたいと思います。

②デマンド型乗合タクシーのみやぎ県南中核病院への乗り入れは非常に難しい問題です。角田市、大河原町双方のタクシー業界の民業圧迫になることや、みやぎ県南中核病院からも困難であるとの回答がありました。

③みやぎ県南中核病院への乗り入れは、一部の市民の方から要望があります。近隣の大河原町との協議をしながら進める問題であります。大河原町の地域公共交通会議で審議された結果、民業圧迫となることを理由に否決されたとのことでした。現在は、頓挫している状態です。

当局・議会回答

みやぎ県南中核病院など、市外へのデマンド型乗合タクシーの乗り入れについては、地元タクシー会社の民業圧迫となることから、大河原町の地域公共交通会議で審議した結果、否決されたようです。また、デマンド型乗合タクシー導入の主旨が、地元商業の活性化であることから、高齢者福祉タクシー券の交付金額の増額などの他の手法による側面支援を検討せざるを得ない状況です。【政策企画課】

意見・質問・要望等

デマンド型乗合タクシーについて、例えば、角田市でレンタカーや車を1台購入して、シェアリングできないものなのか。運転できずに困っている地域やシルバー人材センターなどからドライバーを募り、制度や保険などの責任体制を整備するなど含め、議会として検討してほしい。【横倉自治センター】

当日の回答

全国にはデマンド型乗合タクシーなど取り組んでいる事例もありますので、この件も含め持ち帰り検討します。

当局・議会回答

カーシェアリングの導入については、先進事例を調査・研究し、本市での導入の可能性を検討いたします。【政策企画課】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

先日、賑わいの交流拠点施設の実施計画(案)の概要が全戸に配布されたが、先に開催した全員協議会で議会も理解を示した内容なのか。
また、他地域からの交流人口や地元の住民が日常的に集うような施策も感じられない。もっと住民へのPRも含め、詳細な内容を公表し理解を得るような努力をしてほしい。【横倉自治センター】

当日の回答

まずは簡潔に申し上げますと、この件の予算を伴う議決は行ってませんので決定事項ではありません。この実施計画(案)は、前回の議会報告会で市民の皆様への説明不足との指摘を受け、当局として現時点で計画をしている内容をお知らせしたものと考えています。また、議会としては、平成27年11月16日開催の全員協議会において85件位いの質問や要望等があり、今後とも今回の報告会での皆さんの意見等も踏まえ慎重に審議していきます。

当局・議会回答

現段階では、実施計画(案)の状況であり、整備事業の予算が市議会で可決いただければ、次の段階として交流事業や施設の利活用策等について、ご意見を頂戴したいと考えています。【道の駅整備室】

農業に関すること

意見・質問・要望等

各地区において、年2回の江払いを行っているが、その段階で草刈りを行う場所に水路に面した急勾配な土手がある。これまでは何とか草刈りをやってきたものの、高齢化に伴い大変に危険を感じながら取り組んできたが、今後については難しい現状となってきた。これらについては、どこまでの範囲で草刈りをしなければならないのか。また、その場合の市の支援体制はどうなっているのか教えてほしい。【横倉自治センター】

当日の回答

常々、水田・水路等の環境美化にご協力をいただき感謝申し上げます。ただ今の意見にもありました通り、現段階では、高齢化に伴う危険箇所については、無理をせずに怪我の無いような取り組みに切り替えていただければと考えます。なお、それらの現状を踏まえた草刈りの範囲や危険箇所の刈り残し部分の問題及び市の支援体制については持ち帰り精査していきます。

当局・議会回答

議員回答の通りであり、同様のご相談を受けております。その都度現地を確認し関係課と協議をしながら、その支援体制等について検討しています。【農政課】

不法投棄・ごみに関すること

意見・質問・要望等

ごみの有料化になってから久しくなりますが、これらの収益はどのように活用されているのか。
また、ごみの不法投棄の件で、実際に不法投棄をしている現場を目撃したことがあるが、その後の通報方法などについて説明してほしい。【横倉自治センター】

当日の回答

ごみ分別やごみ処理等については、2市7町で構成する仙南地域広域行政事務組合において環境衛生費として取り組んでおり、ごみ有料化に伴う収益等についても、それらの運用資金として活用しているもので、結果として各市町が負担する負担金等の軽減などにつながります。
また、ごみの不法投棄に関する監視や通報方法については、持ち帰りまして、後日、ご報告をいたします。

当局・議会回答

平成24年7月から家庭ごみの「もやせるごみ」と「もやせないごみ」が有料化の対象となり、まもなく4年目を迎えようとしています。ごみ有料化による収益は、「ごみ処理経費」と「有料化指定袋の製造や流通のための経費」に使われています。なお、平成26年度の家庭ごみ有料化による角田市が仙南地域広域行政事務組合へ負担する負担金軽減額は、約3,100万円程度となっております。
市民の方々が、ごみの不法投棄を発見した場合の通報方法ですが、まずは、市生活環境課へ発見場所をご連絡ください。また、投棄者に繋がる証拠がある際は最寄りの駐在所又は角田警察署に通報願います。
なお、市では、各行政区の環境衛生組合長を生活環境推進員として委嘱し、ごみの不法投棄を発見した場合は、市生活環境課へ通報していただく仕組みとなっております。【生活環境課】

防災に関すること

意見・質問・要望等

配布資料(P67)の「アパート等への防災情報の周知方法について」の市長の回答は、の「自主防災組織との連携が可能な部分についても、連携を進めてまいりたい」とあるが、平成27年9月関東・東北豪雨の災害情報の例もあり、もっと小まめに、かつ、強力に取り組んでもらいたい。【横倉自治センター】

当日の回答

防災情報の周知については、総務財政常任委員会の席上で小まめな情報の提供を行うように申し入れを行っていますが、水害情報に留まらず、土砂災害危険情報の周知徹底などを図るように、当局に対し再度申し入れを行います。

当局・議会回答

防災情報の周知について、アパート等に住んでいる方に対し、市役所からの連絡事項や避難勧告等の情報を伝達しようとしても、どなたが住んでいるか分からないために、自主防災組織の伝達だけでは対応しきれない部分もあると考えられます。
この問題を解決するには、住人一人ひとりの防災意識の高揚を図ることも重要です。例えばアパートの大家さんを通じて事務連絡や防災訓練への参加を呼びかけてもらう等の検討も必要かと思えます。
防災情報の周知に関しては、安全・安心メールの登録、アパート等の近くを消防車がサイレンと拡声器により避難勧告等と呼びかけること、そして市職員による戸別訪問による伝達が、より確実な周知方法であると考えています。【防災安全課】